

平成27年度 奈良市の

# わかりやすい 決算書

市民のみなさんから お預かりしているお金の使い道などを  
わかりやすくご説明します。



# 奈良市のわかりやすい決算書

奈良市の決算や財政状況については、これまでもホームページなどで公表してきましたが、市が法律にもとづいて作成する決算書は、専門用語やたくさんの数字が記載され、すこしわかりにくい作りになっています。

この「わかりやすい決算書」は、はじめて市の決算に触れる市民のみなさんにも、本市の財政状況や市が行っている取組について理解していただけるように、なるべく身近な表現を心がけて作成しました。

奈良市の財政状況は依然厳しいものがあります。

そのなかで効果的で未来につながる魅力的な施策を実行するためには、市民のみなさんの理解と協力が不可欠です。

この冊子を通して、奈良市の財政状況について理解を深めていただければ幸いです。

## 目次

---

基礎知識～決算とは～ .....	2ページ
詳しく見てみよう～収入～ .....	4ページ
詳しく見てみよう～支出～ .....	6ページ
用語編 .....	7ページ
未来の奈良市のために～事業編～ .....	8ページ

---

# 基礎知識 ～決算とは～

基礎知識  
～決算とは～

詳しく見てみよう  
～収入～

詳しく見てみよう  
～支出～

未来の奈良市のために  
～事業編～

## Q 決算ってなに？

A. 決算とは、1年間(4月～翌年3月)の収入(入ったお金)と支出(使ったお金)をまとめたものです

決算を議会へ報告することが、法律で決められています。市民のみなさんが納めている税金が正しく使われているかどうか、市民の代表である議会がチェックしています。

## Q 収入ってどこから入るの？

A. 奈良市の収入の約4割が、みなさんから納められた税金です。

税金には個人市民税(個人が収入に応じて納める税)、法人市民税(会社が納める税)、固定資産税(土地・家などにかかる税)などがあります。そのほかには、国や県から配分されるお金、銀行などから借りるお金などがあります。

## Q 支出って何に使っているの？

A. 何にどれだけ使うかを定める計画である予算をもとに、みなさんが必要とする様々なものにお金を使っています。

学校や道路、公園などの整備やごみ処理などもそのひとつです。

### 市民1人あたりにしてみると？

市民1人あたりの決算額：約**34万7千円**



子育て支援や  
高齢者の医療など  
**14万7千円**



教育や文化の振興  
**3万3千円**

消防・救急

**1万4千円**



商業・観光・  
農林水産業の振興  
**1万円**



借金の返済  
**4万8千円**



市の運営  
**4万4千円**



道路や公園、住宅などの整備  
**2万3千円**



環境や衛生の向上  
**2万8千円**



※一般会計の決算



## 平成27年度の奈良市の決算は？

A. 下の図のように、平成27年度の一般会計は、歳入総額(入ったお金の総額)が1,277億5,923万円で、歳出総額(使ったお金の総額)が1,253億6,098万円でした。

その差引が約24億円ですが、平成27年度にする予定で完了しなかった事業を平成28年度に行うために必要なお金が約1億円必要ですので、それを差し引いた約23億円が実際に手元に残ったお金になり、うち12億円を基金として貯金しました。

### 収入総額

1,277億5,923万円

### 支出総額

1,253億6,098万円

約  
24億円

### 収入と支出の差で残したお金

市民のみなさんや  
市内の会社が納めた税金

【市税】

保育園やこども園の運営  
生活保護  
高齢者や障がい者の支援

【民生費】

国から配分されたお金  
【地方交付税・譲与税・交付金】

庁舎の管理運営 【総務費】

国や県が必要だと認めた事業に  
対して、配分されたお金

【国・県支出金】

ごみの処理など 【衛生費】

道路や公園の整備 【土木費】

借金 【市債】

学校の整備、運営 【教育費】

借金の返済 【公債費】

その他

その他

基礎知識  
〜決算とは〜

詳しく見てみよう  
〜収入〜

詳しく見てみよう  
〜支出〜

未来の奈良市のために  
〜事業編〜

# 詳しく見てみよう ～収入～

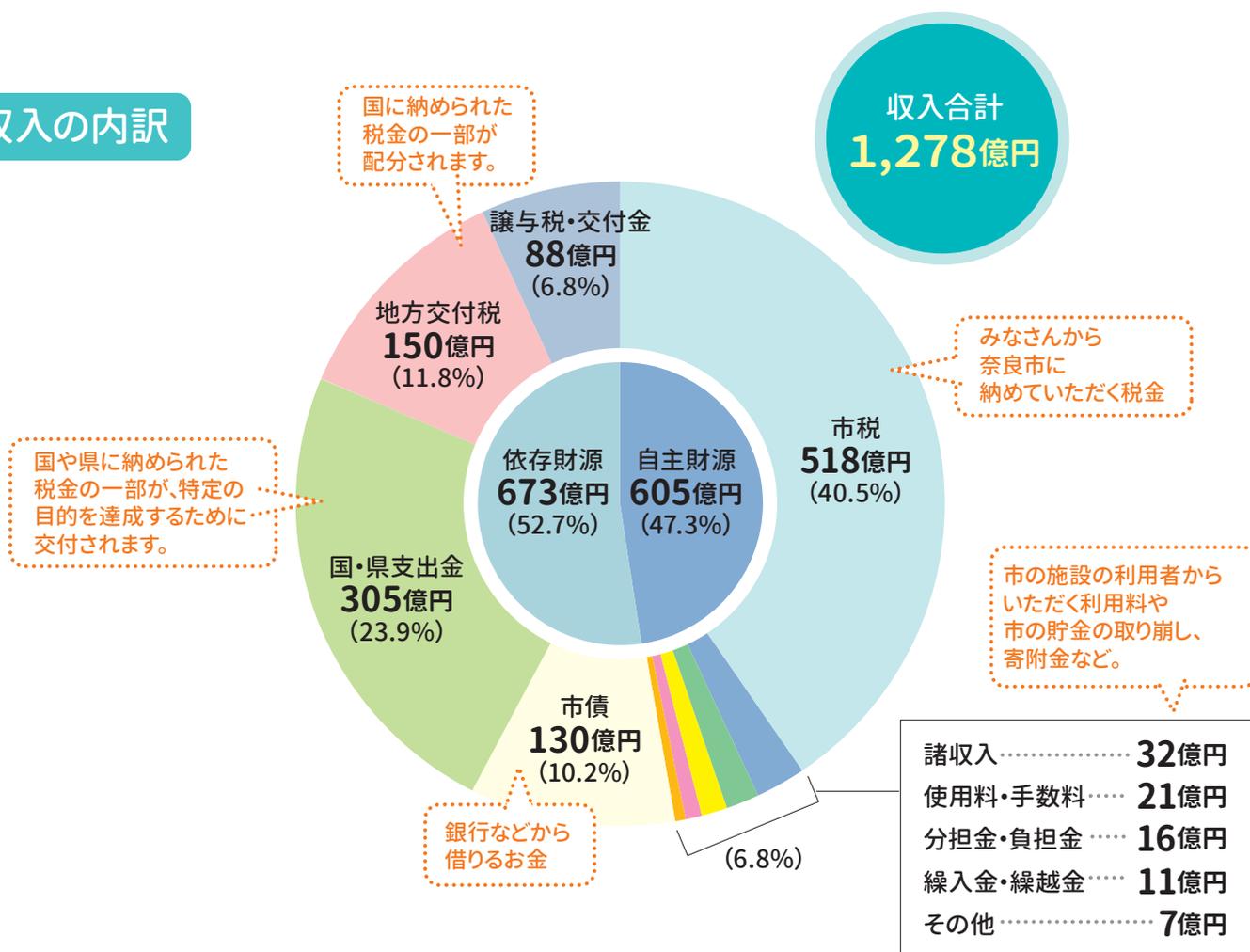
## Q 市の収入ってどんなもの？

### A. 収入で一番多いのは税金(市税)です。

税金には、奈良市内に住んでいる人などが納める個人市民税、奈良市内に事務所などがある法人が納める法人市民税、奈良市内に土地や家などを持っている人が納める固定資産税などがあります。

国に納められた税金の一部が県や市などに配分される地方交付税は、国からのお金のなかでも使い道が決められていないもので、奈良市にとって重要な収入です。

### 収入の内訳



## Q 去年と比べてどう？

### A. 平成27年度は平成26年度と比べて約11億円増加しました。

市税は、固定資産税などが増加し約5億6千万円増加しました。また、消費税率の引き上げの影響などにより譲与税・交付金は約25億円増加しました。

一方で、市の借金である市債は約17億円減らし、また、国から配分される地方交付税は減少しました。



## 市債ってなんですか？

### A. 市債とは銀行などから借り入れた借金のことです。

下の表を見てもらうとわかるように借入れを抑制し、返済を行ってきたことで、平成27年度末の市債残高は、一般会計・特別会計・公営企業会計含めて約2,825億円となっています。

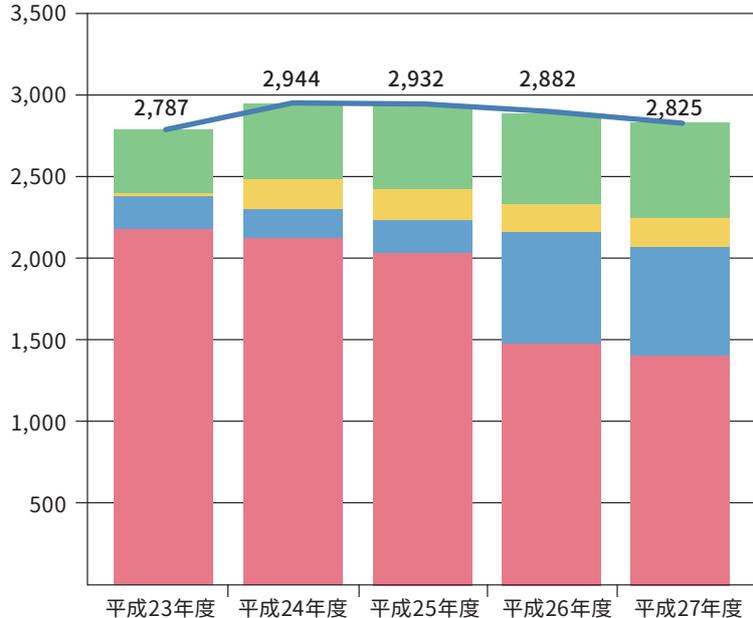
年々減ってきていますが、市民一人当たりになると約80万円と大きな金額であることには変わりはありません。

なぜ、市債を借り入れるのかという理由ですが、お金が足りないためというほかにみなさんで負担を分け合うということがあります。学校や公園や道路など、何年にもわたって使うものについては、何年にもわたって借金を返していくことで、今の人だけではなく、将来使う人にも公平に負担してもらうためです。

### 市債残高の状況

(単位:億円)

- 一般会計・特別会計
- 企業会計
- 第三セクター等改革推進債
- 臨時財政対策債



## これからの取組について

これからも仕事のやり方を見直したり、効率をあげたり、いろいろな取組を行っていくことで、支出を減らしたり借金を減らしたりする努力を続けていきます。

また、さまざまなイベント、事業などを行うことで、奈良市の魅力を発信し、多くの人に奈良市を訪れてもらい、収入の増加につなげていきます。



基礎知識  
決算とは

詳しく見てみよう  
収入

詳しく見てみよう  
支出

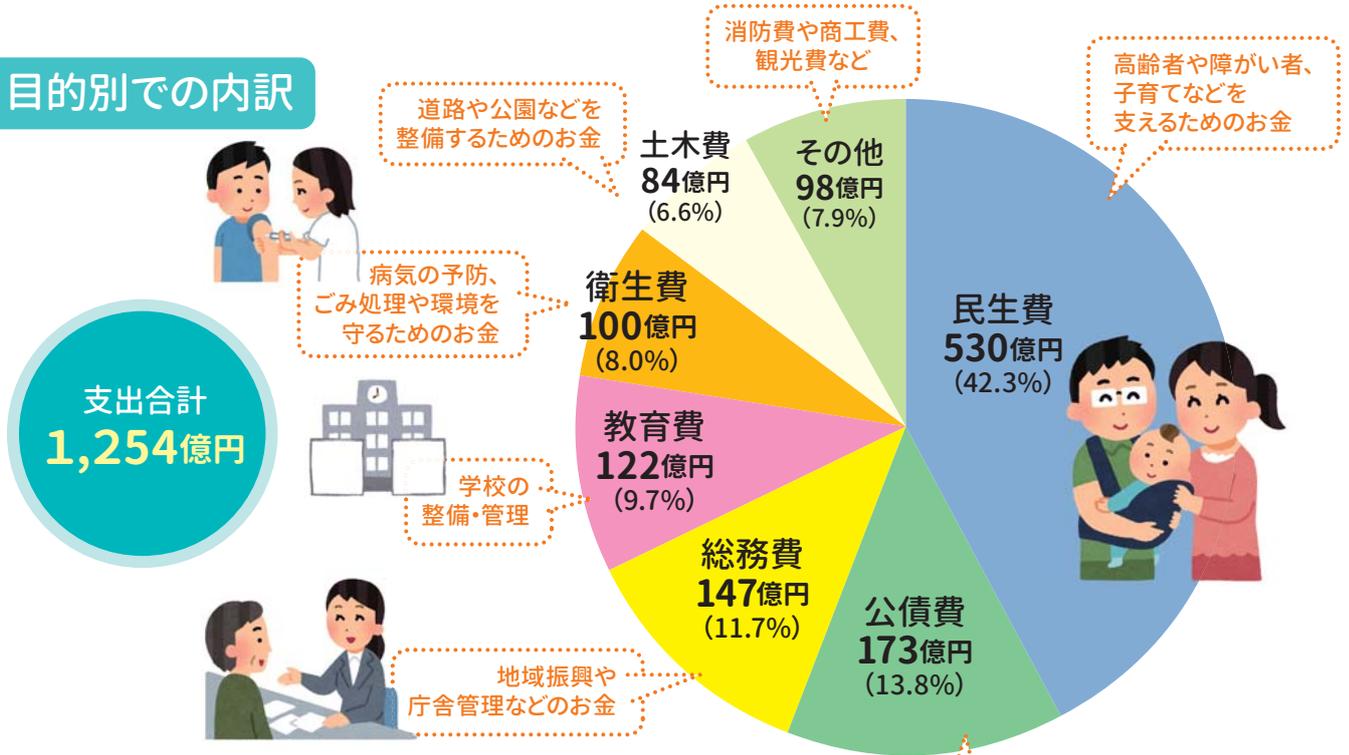
未来の奈良市のために  
事業編

# 詳しく見てみよう～支出～

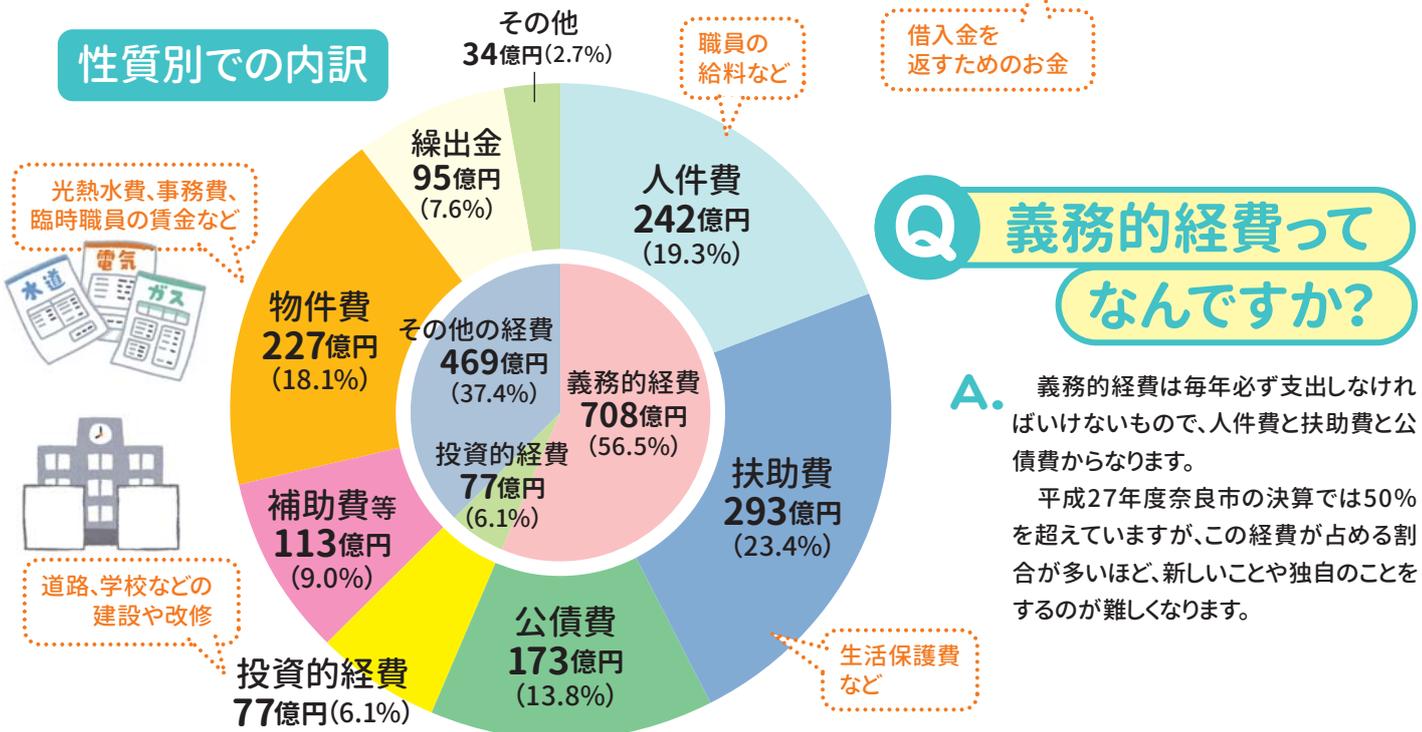
## Q お金の使い道ってどんなもの？

A. 下の2つのグラフに平成27年度のお金の使い道を示しています。  
【何のために使ったのか】が目的別、【どういう用途にお金を使ったのか】が性質別という分け方をしています。  
分け方が2通りあるため、2つのグラフがありますが、お金の合計は同じです。  
同じものを違う見方することで、どんなことに力を注いだかわかります。

### 目的別での内訳



### 性質別での内訳



## Q 義務的経費ってなんですか？

A. 義務的経費は毎年必ず支出しなければいけないもので、人件費と扶助費と公債費からなります。  
平成27年度奈良市の決算では50%を超えています。この経費が占める割合が多いほど、新しいことや独自のことをするのが難しくなります。

基礎知識と決算とは

詳しく見てみよう収入

詳しく見てみよう支出

未来の奈良市のために事業編

# 用語編

～今まで出てきたことばをもう一度整理します。～

## 支出の分類

### ●【目的別】～何のために～

項目	説明	項目	説明
議会費	議員の報酬や議会運営などにかかる経費	土木費	道路、河川、住宅、公園などの整備にかかる経費
総務費	市役所の全般的な仕事にかかる経費	消防費	災害から市民を守るための経費
民生費	児童、高齢者の支援や生活保護などにかかる経費	教育費	学校の整備・管理、生涯学習、文化財保護などの経費
衛生費	医療やごみの収集処理などにかかる経費	災害復旧費	大雨、暴風、地震などの災害により被災した施設の復旧にかかる経費
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費	公債費	借金の返済
農林水産業費	農林業の振興にかかる経費	諸支出金	他に含まれないもの
商工費	中小企業の育成、企業誘致などにかかる経費	予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金
観光費	観光振興にかかる経費		

### ●【性質別】～どんなことに～

項目	説明	項目	説明
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費	その他の経費	
・人件費	職員の給料など	・物件費	光熱水費、事務費、臨時職員の賃金など
・扶助費	生活保護費、障がい者支援費などの福祉にかかる経費	・維持補修費	施設の維持管理にかかる経費
・公債費	借金の返済	・補助費等	公的な団体への補助金、負担金など
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模な改修などの整備にかかる経費	・積立金	基金への積立金
		・投資・出資金	市が行う投資や法人などへの出資にかかる経費
		・貸付金	市が一時的に貸し出しをする経費
		・繰出金	特別会計の収入を補うための経費

## 収入の分類

項目	説明
自主財源	市が自主的に調達できる収入
・市税	みなさんが奈良市に納めた税金
・分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただくお金
・使用料及び手数料	施設の利用や証明書を発行する際などにいただくお金
・繰入金	各種基金を取り崩して使うお金
・その他	寄附金や、不動産売却などの財産収入、前年度からの繰越金など
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられる財源や市債
・譲与税・交付金・交付税	みなさんが国に納めた税金の一部。使い道は自由
・国・県支出金	みなさんが国に納めた税金の一部。使い道は決められている
・市債	銀行などからの借入れ(借金)

基礎知識  
決算とは

詳しく見てみよう  
収入

詳しく見てみよう  
支出

未来の奈良市のために  
事業編

# 未来の奈良市のために ①

## 観光を中心とした地域の魅力・経済の向上

基礎知識  
決算とは

詳しく見てみよう  
収入

詳しく見てみよう  
支出

未来の奈良市のために  
事業編

担当:奈良町にぎわい課

### ●奈良町を核とした観光振興

- 奈良町南観光案内所の運営
- 奈良町にぎわいの家の運営

4,030万円



奈良町の新たな拠点として、奈良町にぎわいの家と奈良町南観光案内所・奈良町南観光駐車場をオープンし、観光客のさらなる誘致に取り組みました。

担当:奈良ブランド推進課

### ●奈良の食ブランド化

- 大和茶PR事業、古都華ブランド化戦略
- 大和茶・日本酒海外戦略、奈良市の食×観光PR

2,011万円



特産である大和茶・古都華(いちご)・日本酒などについて、その魅力を紹介するホームページを開設するなど、積極的に情報発信するとともに、各種PR事業を実施し、認知度向上と消費拡大に取り組みました。

担当:観光戦略課/観光振興課

### ●インバウンド戦略

- 総合観光案内所の機能強化(外国人向け多言語対応)
- QRコードによる観光案内板等の多言語化
- 宿泊支援制度(外国人おもてなし環境整備補助) ほか

8,398万円



海外観光客誘致のため台湾やインドネシアの旅行会社に対するPRやイベント出展を行い、また、観光客受入体制の充実を図り総合観光案内所の機能強化や観光案内板等の多言語化などを行いました。

担当:奈良ブランド推進課/月ヶ瀬行政センター地域振興課

### ●東部地域振興

- アウトドアツーリズムの推進
- RVパーク施設整備 ほか

627万円



地域の豊かな里山資源、農村資源を生かしたサイクリングやフォトラリー等のアウトドアイベントやキャンピングカーユーザーの誘致を目的としたRVパーク施設の整備によって、観光振興に取り組みました。

# ～事業編～ 平成27年度 主な事業の成果

担当:観光振興課

## ●観光の振興

- ・春日大社第六十次式年造替関連事業の実施

1,950万円



奉祝行事のPR活動や行事協力等、奉祝行事実行委員会と協働した活動を行うことで、春日大社の記念事業に関する情報を発信し、奈良への誘客に取り組みました。

担当:商工労政課

## ●起業家支援

- ・起業家ステップアップ支援事業補助金(店舗改修支援)
- ・起業家支援施設機能強化事業

1,573万円



市内施設に移転する起業家に補助金を交付しました。また、積極的な起業や安定的な経営を下支えできるよう、きらっ都・奈良2階に「プレススタートアップセンターNARA EGG」を設置しました。

担当:観光戦略課

## ●奈良の魅力拡大

- ・第三回珠光茶会の開催

870万円



古都奈良を体感できる世界遺産を含む社寺や「ならまち」のお茶室などを会場に、身体も心も温まるお茶席をお届けし、9,470人の参加がありました。

担当:東アジア文化都市推進課

## ●文化の振興

- ・東アジア文化都市事業推進 1億1,163万円



文化庁とともに実施する「東アジア文化都市2016」の国内開催地として準備を進め、3月26日に東大寺においてオープニング(式典、シンポジウム、オープニングステージ等)を開催しました。

担当:観光戦略課

## ●奈良の魅力拡大

- ・まほろば観光大学の運営 692万円



まほろば観光大学を開校し、旅館・ホテル等の宿泊施設の従業員や経営者を対象に、ホテルマネジメント等の講座を実施し、人材育成を行いました。

まほろば観光大学…平成27年度は平成28年3月に開校(3日間)。東大寺総合文化センターで、実践・理論・経営・財務をテーマに、セントラルフロリダ大学准教授や元観光庁参事官等の著名な講師陣を招き、経営やマーケティング等についての講義を行いました。

担当:スポーツ振興課

## ●スポーツの振興

- ・鴻ノ池陸上競技場内装改修
- ・鴻ノ池運動公園活性化

5,128万円



陸上競技場の内装改修工事、公園内のLED街灯の増設等を行いました。

基礎知識  
〜決算とは〜

詳しく見てみよう  
〜収入〜

詳しく見てみよう  
〜支出〜

未来の奈良市のために  
〜事業編〜

# 未来の奈良市のために ②

## 安心して子育てのできる環境づくり

基礎知識  
〜決算とは〜

詳しく見てみよう  
〜収入〜

詳しく見てみよう  
〜支出〜

未来の奈良市のために  
〜事業編〜

担当:学校教育課

### ●次世代を見据えた公教育改革

- ・外国語指導助手の増員(19人→26人)

**4,580万円**

ALT(外国語指導助手)を小中学校に配置し、外国語(英語)に触れる機会を充実させ、国際化時代に対応できるグローバル人材の育成を行いました。



担当:子ども政策課

### ●子育て支援

- ・保育所・幼稚園のこども園化の推進

**2,234万円**



市立保育所と市立幼稚園のそれぞれの良いところを生かしながら、その両方の役割を果たすことができる就学前の子どもの施設として「市立こども園」の設置を進めました。



担当:保健給食課



### ●学校給食の充実

- ・地産地消の推進  
(モデル校での自校炊飯)

**888万円**



地産地消を推進するため、9小・中学校をモデル校として、市内産米での自校炊飯を開始しました。

# ～事業編～ 平成27年度 主な事業の成果

担当:学校教育課

## ●次世代を見据えた公教育改革

・フューチャースクール構想の実証

**3,642万円**

子どもたちの思考力・判断力・表現力といった学力を向上するため、小学校にはタブレット端末を、中学校にはタブレット端末併用型パソコンを導入しました。



担当:子育て相談課

## ●子育て支援

・里親支援の推進 **242万円**



里親相談員を配置し、里親制度についての相談窓口を開設しました。奈良県里親会をはじめ関係機関と情報交換を行い支援のあり方について検討しました。また里親制度の啓発を図るため里親シンポジウムを開催しました。

担当:地域教育課

## ●子育て支援

・全バンビーホーム開所時間延長(18時→19時)

**7,896万円**



全バンビーホームで19時までの延長保育を完全実施しました。

担当:道路維持課/環境政策課

## ●循環型社会を目指して

・街路灯のLED化  
・陶磁器製食器類リユース・リサイクル

**2億4,702万円**

9,966灯の蛍光灯街路灯をLED照明に転換しました。また、市民の環境意識を高めるとともに、陶磁器製食器のリユース・リサイクルを推進することを目的とした「もったいない陶器市」を開催し、延べ8tの食器をリユース、6tをリサイクルしました。



街路灯をLED化すると・・・

①省エネ効果:消費電力は40%以上削減 蛍光灯の3.3倍の長寿命 ②地球環境への配慮:CO<sub>2</sub>排出量 蛍光灯に比べると33kg/年以上削減 奈良市は平成24年度から市内の水銀灯のLED化に取り組んでいます!

基礎知識・決算とは

詳しく見てみよう・収入

詳しく見てみよう・支出

未来の奈良市のために

事業編

# 未来の奈良市のために ③

## 安心・安全で住民の活力あふれるまちづくり

担当:危機管理課/消防局総務課

### ●防災に強いまちづくり

- ・緊急告知型ラジオ放送設備等導入
- ・消防団装備の拡充・消防団員用被服の充実

1,542万円



災害時の情報伝達手段のひとつとして、避難所関係者等に緊急告知ラジオを提供しました。その他、消防団の装備や被服の充実、近年のゲリラ豪雨等に備えた浸水対策等を行いました。

担当:奈良ブランド推進課

### ●住みたくなる街

- ・三世帯同居・近居住宅支援
- ・シティプロモーション
- ・空き家バンク設置 ほか

2,849万円



市外の子育て世帯が転入する際の住宅購入・リフォーム改修支援や、空き家を活用したリフォーム改修支援、魅力的な街づくり施策を展開し、情報発信することで定住人口の増加を促進しました。

定住促進ホームページ「なら、らぶ、りぶ～奈良市に住もう～」では、市の魅力や移住に関する支援・補助の情報を発信しています。

担当:管財課/こども園推進課/公園緑地課/道路建設課/教育総務課

### ●公共施設の耐震化・長寿命化

- ・明治小学校校舎改築/あやめ池小学校校舎改築
- ・公園施設長寿命化計画策定 ほか

8億8,411万円



耐震基準を満たしていない学校園の施設を耐震化し、平成27年度末の耐震化率は96.3%となりました。また、公園施設長寿命化計画の策定が完了し、遊具の整備工事を行いました。

担当:新斎苑建設推進課

### ●新斎苑整備

- ・新斎苑整備に係る各種調査  
(用地測量・環境影響評価)

422万円



周辺環境との調和や機能性と安全性を重視した新斎苑建設に向けて、平成27年度は基本計画(案)を作成し、環境影響評価や斜面安定解析調査、用地測量業務に着手しました。

基礎知識  
決算とは

詳しく見てみよう  
収入

詳しく見てみよう  
支出

未来の奈良市のために  
事業編

# ～事業編～ 平成27年度 主な事業の成果

担当:医療政策課

## ●健康長寿の推進

- 健康長寿施策推進のための基礎調査

1,931万円



国民健康保険、後期高齢者医療保険、生活保護のレセプト、健診結果等を横断的に分析し、健康面の現状把握から生活習慣病の重症化を予防し、健康長寿や医療費適正化を目指す保健事業を提案しました。

担当:協働推進課/スポーツ振興課/健康増進課

## ●健康長寿の推進

- 奈良市ポイント制度  
長寿健康ポイント・ボランティアポイント  
健康増進ポイント・健康スポーツポイント

1,550万円



健康づくりや外出支援、社会貢献などに関する事業の参加者へポイントを付与し、加盟店での利用や奈良交通バスチャージ券、ななまるお風呂券、特産品の交換を行いました。

担当:健康増進課

## ●健康長寿の推進

- 胃がんリスク検診
- 糖尿病等生活習慣病重症化予防対策

158万円



胃がんになる危険度を判定する胃がんリスク検診の受診費用の一部を、一定年齢の方を対象に奈良市ポイントで助成しました。また、糖尿病等生活習慣病についての相談窓口を開設し、重症化の予防を図るため保健指導を実施しました。

担当:長寿福祉課

## ●地域包括ケア・福祉の推進

- 高齢者見守りネットワーク、
- 行方不明高齢者GPS導入、  
認知症対策事業

500万円



認知症等で行方不明になる可能性のある方を事前に把握し、万が一の際は、早期に捜索し保護できる体制を整えました。また、認知症相談窓口を西部会館にも増設し本人や家族の方にカウンセリングを行いました。

担当:保護第一課/障がい福祉課

## ●地域包括ケア・福祉の推進

- 精神障害者医療費助成
- 生活困窮者自立相談支援事業

7,087万円



精神障害者保健福祉手帳1級所持者に対し、医療費の一部を助成しました。また、生活にお困りの方からの自立に向けた相談等を行う自立相談支援事業を行いました。

担当:教育総務課/道路建設課

## ●快適な都市基盤の整備

- 通学路・交通安全施設の整備  
(歩道整備、ゾーン30)

7,774万円



小学校周辺における通学路の危険箇所の抽出を行い、通学路整備等子どもたちの安全対策を行いました。

「ゾーン30」…生活道路の安全を確保するため、一定の区域内の道路の最高速度を30km/hに規制しています。市内に6地区設置しています。

基礎知識  
決算とは

詳しく見てみよう  
収入

詳しく見てみよう  
支出

未来の奈良市のために  
事業編

## 奈良市のわかりやすい決算書

---

【発行】奈良市

【お問合せ】奈良市 財務部 財政課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話 0742-34-4720 FAX 0742-34-4755

